

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年7月12日
【四半期会計期間】	第47期第3四半期（自平成25年3月1日至平成25年5月31日）
【会社名】	旭化学工業株式会社
【英訳名】	ASAHI KAGAKU KOGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉浦 武
【本店の所在の場所】	愛知県碧南市港南町二丁目8番地14 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	愛知県安城市城ヶ入町広見133番地3
【電話番号】	（0566）92-4181（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 奥村 哲男
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第3四半期連結 累計期間	第47期 第3四半期連結 累計期間	第46期
会計期間	自平成23年9月1日 至平成24年5月31日	自平成24年9月1日 至平成25年5月31日	自平成23年9月1日 至平成24年8月31日
売上高(千円)	4,990,718	4,976,364	6,436,916
経常利益(千円)	295,568	142,859	357,529
四半期(当期)純利益(千円)	214,866	91,436	262,418
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	282,223	674,947	244,042
純資産額(千円)	4,689,404	5,271,377	4,651,184
総資産額(千円)	5,655,158	6,269,167	5,570,505
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	58.88	25.06	71.91
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	82.92	84.08	83.50

回次	第46期 第3四半期連結 会計期間	第47期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年3月1日 至平成24年5月31日	自平成25年3月1日 至平成25年5月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.86	9.28

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州経済の停滞や中国等新興国の経済成長に陰りがみられ先行き不透明な状況が続いておりましたが、昨年末の政権交代による新政権の経済政策や日銀による金融緩和策により円安、株高へと景気回復への期待感が増してまいりました。しかし、企業の設備投資は低調であり、雇用の回復も依然として厳しい状況にありました。

このような状況の中、当社グループは積極的な営業活動を行う一方、最低賃金引上げによる人件費の増加に対応すべく機械の自動化等原価低減に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は49億76百万円（前年同四半期比0.3%減）となり、経常利益は1億42百万円（同51.7%減）、四半期純利益は91百万円（同57.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

国内は、主取引先であります電動工具業界からの受注が減少し、売上高は24億33百万円（前年同四半期比7.5%減）、営業損失は4百万円（前年同四半期は営業利益57百万円）となりました。

中国

中国は、為替が円安傾向となったことから、売上高は26億37百万円（同8.0%増）となりましたが、国の最低賃金の引上げによる人件費の増加等により、営業利益は1億39百万円（同28.7%減）となりました。

タイ

タイは、平成25年10月より販売が開始され、売上高は18百万円、営業損失は67百万円（前年同四半期は営業損失9百万円）となりました。

（2）財政状態の分析

資産合計は、前連結会計年度末と比べ6億98百万円増加し62億69百万円（前連結会計年度末比12.5%増）となりました。これは主に有形固定資産が6億12百万円増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ78百万円増加し9億97百万円（前連結会計年度末比8.5%増）となりました。これは主に買掛金が92百万円増加したことによるものであります。

純資産の合計は前連結会計年度末と比べ6億20百万円増加し52億71百万円（前連結会計年度末比13.3%増）となりました。これは主に為替換算調整勘定が5億39百万円増加したことによるものであります。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は3百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設のうち、当第3四半期連結累計期間に完成したものは以下のとおりです。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	完成年月
Asahi Plus Co.,Ltd.	Asahi Plus (タイ王国ラヨン県)	タイ	工場 射出成形機及び周辺 設備 金型加工機	平成25年3月

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,720,000
計	12,720,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年7月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,896,000	3,896,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	3,896,000	3,896,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年3月1日～ 平成25年5月31日	-	3,896,000	-	671,787	-	717,689

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 246,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,648,000	36,480	-
単元未満株式	普通株式 1,100	-	-
発行済株式総数	3,896,000	-	-
総株主の議決権	-	36,480	-

【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
旭化学工業(株)	愛知県碧南市港南町二丁目8番地14	246,900	-	246,900	6.34
計	-	246,900	-	246,900	6.34

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,809,206	1,768,045
受取手形及び売掛金	935,514	967,547
商品及び製品	160,903	147,351
仕掛品	67,776	78,950
原材料及び貯蔵品	110,628	130,118
繰延税金資産	18,178	21,009
その他	71,398	86,558
貸倒引当金	490	560
流動資産合計	3,173,116	3,199,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	735,430	1,141,520
機械装置及び運搬具(純額)	483,344	760,665
土地	917,280	949,523
その他(純額)	131,546	28,422
有形固定資産合計	2,267,601	2,880,132
無形固定資産	9,385	12,230
投資その他の資産		
投資有価証券	92,541	148,702
その他	31,037	32,256
貸倒引当金	3,176	3,176
投資その他の資産合計	120,401	177,782
固定資産合計	2,397,388	3,070,145
資産合計	5,570,505	6,269,167
負債の部		
流動負債		
買掛金	598,743	690,867
未払法人税等	52,012	42,841
賞与引当金	25,955	35,254
役員賞与引当金	13,280	7,212
その他	191,831	154,829
流動負債合計	881,823	931,004
固定負債		
繰延税金負債	2,228	25,793
役員退職慰労引当金	35,269	37,891
その他	-	3,100
固定負債合計	37,497	66,784
負債合計	919,321	997,789

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	3,646,270	3,682,971
自己株式	132,908	132,927
株主資本合計	4,915,087	4,951,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,393	63,566
為替換算調整勘定	283,296	256,041
その他の包括利益累計額合計	263,903	319,608
純資産合計	4,651,184	5,271,377
負債純資産合計	5,570,505	6,269,167

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	4,990,718	4,976,364
売上原価	4,334,227	4,456,569
売上総利益	656,491	519,795
販売費及び一般管理費	368,789	406,153
営業利益	287,701	113,641
営業外収益		
受取利息	15,539	21,666
受取配当金	558	522
為替差益	-	4,275
その他	4,351	2,887
営業外収益合計	20,449	29,351
営業外費用		
支払利息	-	133
為替差損	12,514	-
その他	67	-
営業外費用合計	12,581	133
経常利益	295,568	142,859
特別利益		
固定資産売却益	742	-
投資有価証券売却益	6,592	16,112
特別利益合計	7,334	16,112
特別損失		
固定資産売却損	373	340
固定資産除却損	15	0
就業補償金	727	1,712
特別損失合計	1,116	2,053
税金等調整前四半期純利益	301,787	156,919
法人税、住民税及び事業税	95,262	68,430
法人税等調整額	8,341	2,947
法人税等合計	86,921	65,483
少数株主損益調整前四半期純利益	214,866	91,436
四半期純利益	214,866	91,436

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	214,866	91,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,468	44,173
為替換算調整勘定	79,825	539,338
その他の包括利益合計	67,357	583,511
四半期包括利益	282,223	674,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	282,223	674,947
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
減価償却費	150,579千円	161,879千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月29日 定時株主総会	普通株式	51,089	14.00	平成23年8月31日	平成23年11月30日	利益剰余金
平成24年4月10日 取締役会	普通株式	14,596	4.00	平成24年2月29日	平成24年5月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月27日 定時株主総会	普通株式	40,139	11.00	平成24年8月31日	平成24年11月28日	利益剰余金
平成25年4月9日 取締役会	普通株式	14,596	4.00	平成25年2月28日	平成25年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	タイ	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	2,631,515	2,359,203	-	4,990,718	-	4,990,718
セグメント間の内部売上高又は 振替高	280	83,754	-	84,034	84,034	-
計	2,631,795	2,442,958	-	5,074,753	84,034	4,990,718
セグメント利益又は損失()	57,381	195,542	9,169	243,754	43,946	287,701

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	タイ	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	2,433,870	2,526,813	15,680	4,976,364	-	4,976,364
セグメント間の内部売上高又は 振替高	79	111,096	3,115	114,291	114,291	-
計	2,433,950	2,637,909	18,796	5,090,656	114,291	4,976,364
セグメント利益又は損失()	4,071	139,391	67,159	68,160	45,481	113,641

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	58円88銭	25円06銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	214,866	91,436
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	214,866	91,436
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,649	3,649

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年4月9日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額 14,596千円
- (ロ) 1株当たりの金額 4円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年5月27日

(注) 平成25年2月28日の最終の株主名簿に記載または記録された株主もしくは登録株式質権者に対し支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月10日

旭化学工業株式会社
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 芳幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐野 正人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている旭化学工業株式会社の平成24年9月1日から平成25年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年3月1日から平成25年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成25年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、旭化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。